

平成 21 年 2 月 23 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之
(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 1 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 1 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		1 月度	対前年 同月増減 注 7)	(参考) 累計 注 8)	(参考) 対前年 累計増減 注 9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	65.3%	4.7%	75.6%	-2.6%
	ADR (円)	14,185	-652	16,435	639
	RevPAR (円)	9,258	275	12,420	67
	売上高 (百万円)	377	-42	2,701	-170
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	79.9%	9.7%	88.7%	6.9%
	ADR (円)	14,663	-1,595	18,924	-163
	RevPAR (円)	11,722	296	16,785	1,181
	売上高 (百万円)	472	13	2,995	80
なんばオリエンタルホテル	稼働率	73.3%	-9.6%	80.9%	-8.1%
	ADR (円)	10,397	53	10,853	279
	RevPAR (円)	7,617	-954	8,777	-628
	売上高 (百万円)	149	-10	792	-40
ホテル日航アリビラ	稼働率	55.6%	7.0%	74.7%	0.8%
	ADR (円)	20,786	-3,237	23,149	752
	RevPAR (円)	11,550	-118	17,283	746
	売上高 (百万円)	290	0	2,028	13
オリエンタルホテル広島 注 6)	稼働率	63.2%	15.0%	74.6%	7.7%
	ADR (円)	8,676	560	9,036	384
	RevPAR (円)	5,486	1,570	6,740	954
	売上高 (百万円)	155	25	963	95
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,443	-14	9,478	-22

1 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、競合ホテルが販売室数の取り込みに苦しみ中、インターネット商品の拡充、及び積極的な販売を行い、売上は前年とほぼ同水準の結果となりました。料飲部門では、婚礼宴会が、2008年11月末に神戸市内に開業した婚礼施設の影響で婚礼件数が減少、料飲部門全体の売上も前年を下回りました。その結果、ホテルの総売上は、前年同月を約42百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、TDR25周年イベントによる集客効果が持続している中、ADRは前年同月を下回ったものの稼働率は上昇し、結果として部門売上は前年を上回りました。レストラン部門においても、朝食およびランチが好調裏に推移し、前年同月の売上を上回りました。宴会部門では、婚礼宴会売上が、2007年夏より2008年秋にかけて千葉市及び船橋市に開業した新規の婚礼施設の影響により、前年同月の売上を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約13百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門は、ADRは上回ったものの、円高を受けた韓国インバウンドの減少により稼働率が対前年同月を下回り、売上も前年同月を下回りました。結果的にホテル総売上は前年同月で約10百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、前年に高単価で販売できた正月期間の日並びが悪かったこと等によりADRが前年同月を下回り、稼働率は前年を上回ったものの、結果的に売上は前年を下回りました。料飲部門は、稼働率上昇に伴う宿泊人数の増加により、対前年を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年と概ね同水準となりました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、予約ソースの拡充、及びネット販売を中心にしたセールス活動が好調で、前年同月に実施していた改装工事による売り止めの影響を差し引いても、稼働率、ADRとも前年同月比を上回り、売上も前年を上回りました。料飲部門においては、レストラン部門は前年同月比で同水準、宴会部門においては、2008年9月初旬に竣工した3・4F宴会場のリニューアル効果により、婚礼宴会・一般宴会共に前年を上回りました。その結果、ホテルの総売上は前年同月を約25百万円上回りました。

注 1) 上記のコメントは運用会社が貸借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前年同月及び累計増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。

注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。

注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。

注 9) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>